

## 日常に便利で、ロングドライブでも疲れの少ない快適ツアラーパッケージ。

N360は、現在の軽自動車よりひとまわり小さい規格でつくられていながら、不思議なほど広さを感じます。ピラーやサイドウィンドウのラインが、人が自然に感じられるよう緻密に計算されているからです。N-ONEのパッケージ開発は、人のための空間と荷室スペースの最適バランスを追求するとともに、人の感覚を重視したN360の設計思想に学び、ピラーまでの距離やウインドウラインの形状などを徹底的に吟味しました。その結果、実寸以上の広さを感じさせる心地よい居住空間と大きくて使いやすい荷室、そして、優れた視界を実現。日常に便利で、ロングドライブでも疲れの少ない快適ツアラーパッケージを完成させました。

### ■ 革新プラットフォームを活かし、広い室内と躍動感あふれる台形フォルムを両立

センタータンクレイアウトとミニマムエンジンルームで軽自動車に圧倒的な広さをもたらしたNシリーズの革新プラットフォーム。N-ONEは、その優位性を活かしくラストップ<sup>\*1</sup>の有効室内空間長<sup>\*2</sup>を達成するとともに、人のための空間と荷室スペースを最適バランスに設定。そのうえで、テールゲートを適度に前傾させた台形フォルムを可能とし、躍動感あふれるエクステリアデザインの具現化に貢献しました。

### ■ ゆったり足が組めるリア席とポリタンクが4個積める荷室を両立

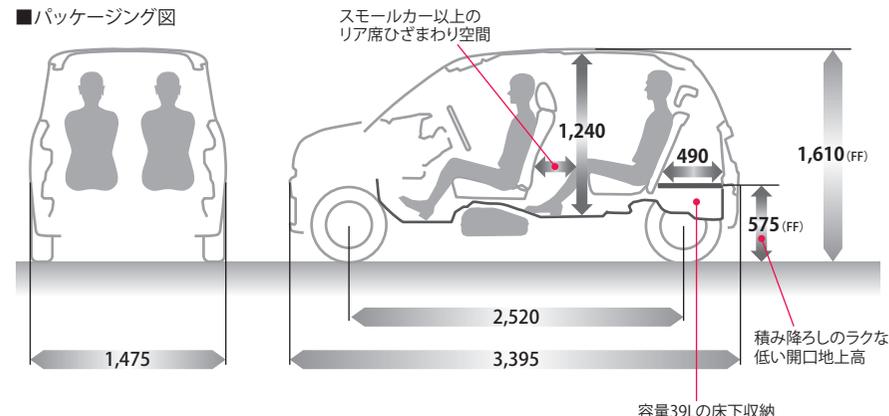
リア席の配置をミリ単位で検討。ゆったり足が組める、スモールカー以上のリア席ひざまわり空間を実現しながら、20Lのポリタンクが縦に4個<sup>\*3</sup>積める、長さ490mmの荷室を両立させました。リア席は、シート下に燃料タンクがないため足を引いてもかかたが当たらず、より自由な姿勢で乗車が可能。乗り降りも容易です。荷室は、掃き出しフロアとしたうえで、テールゲート開口地上高をクラスでもっとも低い575mm (FF)<sup>\*1</sup>に設定。重い荷物も高く持ち上げる必要がなく、容易に積み降ろしできます。また、ラゲッジボード下に容量39Lの「隠せる」床下収納を用意。メンテナンス用品や汚れ物などの収納に便利です。

### ■ 便利なアレンジでさまざまな荷物に対応

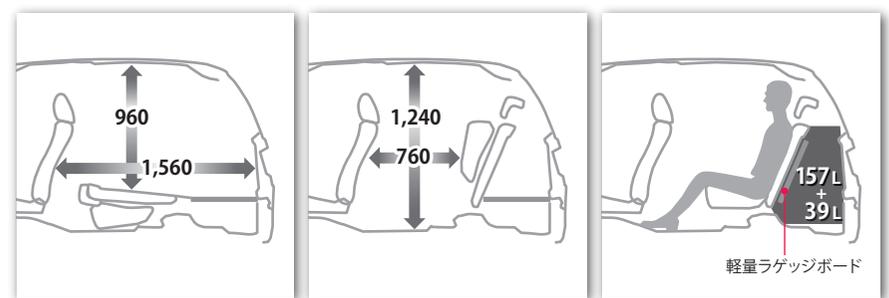
フロント席下に燃料タンクを配置するセンタータンクレイアウトが、便利なシートアレンジを実現しました。リアシートは簡単操作でダイブダウンとチップアップが可能。また、リア席使用状態でラゲッジボードを起かせば荷室と床下収納が一体となった大容量の空間に。乗員数や荷物に応じてさまざまな使い方ができます。

<sup>\*1</sup> 軽ハイワゴンクラス 2012年10月現在 Honda調べ  
<sup>\*2</sup> 居住空間の長さとは荷室空間の長さを足し合わせた、実際に活用可能な室内の長さ。  
<sup>\*3</sup> ポリタンクの形状によっては異なる場合があります。

■ パッケージング図



■ 便利なアレンジ



リアシートは、ワンアクションで背もたれがたたみこまれるように足元スペースに収納され、低くフラットな荷室が完成。荷室高はクラストップ<sup>\*1</sup>の960mm、最大荷室長(助手席スライド最前時)は1,560mmで、大きな荷物もラクラク載せられます。

座面を跳ね上げると、リア席足元空間が高さ1,240mmの荷室に変身。背の高い荷物も容易に載せられます。

ラゲッジボードを起かせば荷室と床下収納が一体となった大容量の空間に。背の高い荷物にも対応します。

単位:mm 数値はすべてHonda測定値 荷室容量はVDA方式によるHonda測定値